

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	地学実験		
英文授業科目名	Geographical Laboratory		
開講年度	2008年度	開講年次	3年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間・夜間主コース
授業の方法	実験	単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-自由科目		
開講学科・専攻	電子工学科 量子・物質工学科		
担当教官名	酒井 彰		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
sakai.a@aist.go.jp	

【主題および達成目標】
教職課程の科目「理科」に関する専門教育科目としての「地学実験」であることから、学習指導要領に則した、地学的事象・現象についての基礎的な観察や実験の技能を修得することを目標とする。

【前もって履修しておくべき科目】
地学第二

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】
<p>必要なものはプリントとして配布する。</p> <p>参考書としては、初心者向けに書かれたガイドブックとして下記のものがある。</p> <p>東京の自然をたずねて、築地書館、日曜の地学シリーズ4</p> <p>千葉の自然をたずねて、築地書館、日曜の地学シリーズ19</p> <p>より専門的な知識の整理が必要になった場合には、</p> <p>日本の地質 全13巻および増補版（共立出版）、地学事典（平凡社）などを参照のこと。</p>

電気通信大学 平成20年度シラバス

【授業内容とその進め方】

受講者の人数にかかわらず、野外実習（巡検という）を主とし、休日等を利用して4回実施する。野外実習の内容は地層の見方と記載の方法、岩石の観察と鉱物の産状、第四紀の地形・地質と環境を主要なテーマとし、毎回異なった内容を実習する。野外実習に必要な知識については、実施前に講義を行う。巡検の実施日等は、ガイダンス当日にあらかじめ調整を行い、次回の講義日に伝達する。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

講義の6割以上の出席者について、野外実習4回実施のうち3回以上の参加とそのレポートによる評価を行う。レポートは体験を重視し、観察結果とその解釈について、科学的考察の優れたものを評価する。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

地学実験に関する注意事項や、実施月日の調整などを含む重要事項について、開講日にガイダンスを行うので、必ず出席すること。

【その他】